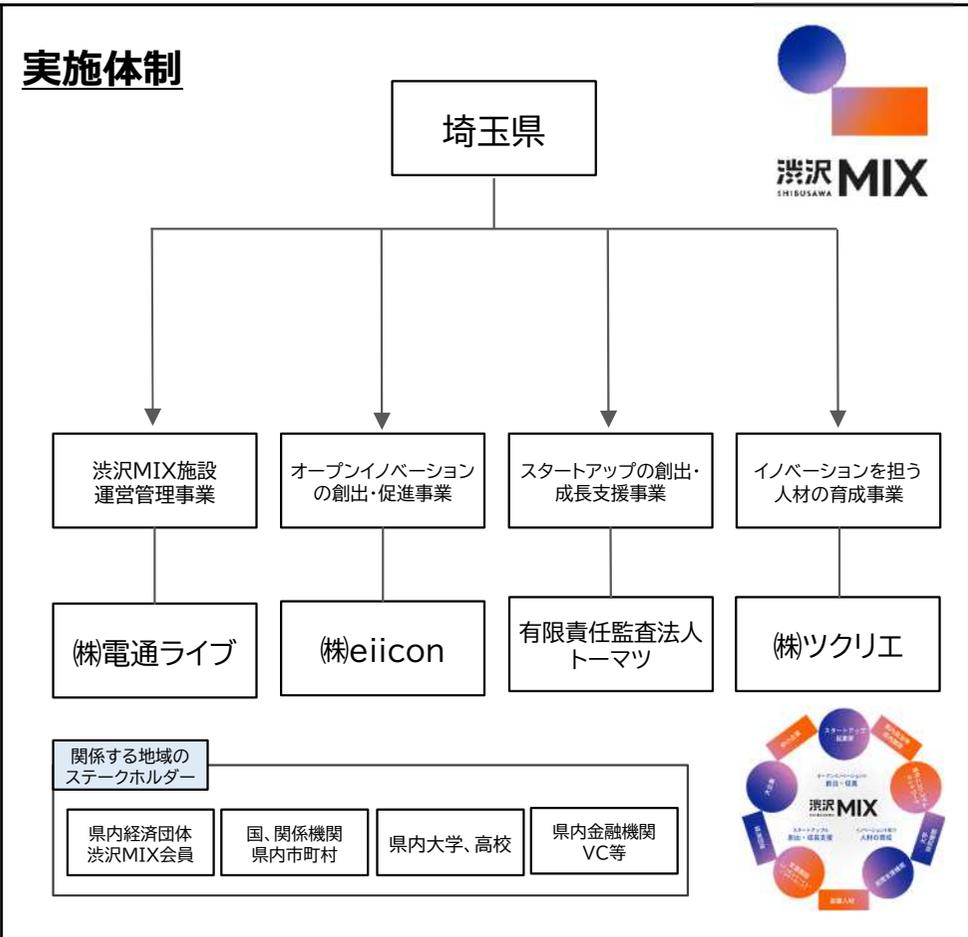


交付金の具体的な用途と実施体制

事業名：「渋沢MIX」イノベーション創出支援事業

経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業	デジタル実装型	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	667,065千円 (222,355千円)
事業計画期間	R7-R9年度					事業分野	強い経済分野
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 県内企業の連携や協業を促進し、オープンイノベーションを創出することで、県内企業や地域の課題解決を図るとともに、イノベーションの担い手である多くのスタートアップの創出・成長を支援し、県内経済の活性化を目指す。 起業や新事業開発の支援を行い、イノベーション創出にチャレンジする人材の増加や活躍する環境を醸成することで、次のイノベーションの担い手を育てる好循環を創出する。 						

<p>具体的な用途と実施体制 ※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>具体的な用途 イノベーション創出拠点である「渋沢MIX」で、異業種の企業やスタートアップの出会い・交流を促進し、連携・協業へとつなげることで、企業・地域が持つ課題の解決を図り、渋沢栄一翁ゆかりの地である埼玉県ならではの経済の活性化を行っていく。</p> <p>【ソフト対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オープンイノベーションの創出・促進 ・プログラム（協業に向けた伴走支援）の実施 委託費：140,000千円、委託先：(株)eiicon ○スタートアップの創出・成長支援 ・アクセラレーションプログラム（短期集中型の伴走支援）の実施 委託費：75,000千円、委託先：有限責任監査法人トーマツ ○イノベーションを担う人材の育成 ・学生向け起業プログラムの実施 委託費：7,225千円、委託先：(株)ツクリエ ○渋沢MIX施設運営管理 ・施設の運営・管理、イベントの企画・実施等 既契約に基づく経費のため、県単費で対応、委託先：(株)電通ライブ
---	--



交付金の具体的な用途と実施体制

事業名：埼玉型県産木材流通イノベーションプロジェクト

経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		デジタル実装型		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	124,798千円 (34,798千円)	
事業計画期間	R7-R9年度							事業分野	農林水産分野		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用して「県産材利用サポート」「需要情報」「供給体制コーディネート」等の機能をもった県産木材情報共有システムを構築し、限られた流通ではなく誰もが参画できるプラットフォームとして運用することにより、県産木材の新たな流通体制を整備する。 										
具体的な用途と実施体制	<h3>具体的な用途</h3> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県産木材流通体制構築支援事業 34,798千円 補助先：森林パートナーズ(株) <p><補助金の内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム開発及び運営等 委託費：24,000千円 委託先：ビジネスリアート(株) 役務費：2,520千円 契約先：伊佐ホームズ(株) 人件費・旅費・需用費・使賃料：4,090千円 ・システム運営 委託費：900千円 委託先：ビジネスリアート(株) 人件費：1,200千円 ・システム誘致活動 委託費：750千円 委託先：ビジネスリアート(株) 役務費：60千円 契約先：伊佐ホームズ(株) 人件費・旅費・使賃料：1,278千円 <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>							<h3>実施体制</h3> <pre> graph TD Saitama[Saitama Prefecture] -- "事務局として運営" --> Council[県産木材供給体制構築対策協議会 (埼玉県事務局)] Saitama -- "補助金 ※協議会で 実施主体決定後" --> ForestPartners[森林パートナーズ(株)] Council -- "実施主体決定" --> ForestPartners ForestPartners -- "委託" --> DevOps[システム開発、運営誘致活動等 ・ビジネスリアート(株) ・伊佐ホームズ(株)] Council --- Stakeholders[川上事業者 (森林所有者、素材生産者等) 川中事業者 (製材、プレカット工場等) 川下事業者 (工務店、設計事務所等)] Council --- Advisors["(アドバイザー) ・東京農業大学 ・(一社)日本森林技術協会 ・(株)アルセッド建築研究所 ・林業ジャーナリスト"] </pre>			

交付金の具体的な用途と実施体制

事業名：【所沢航空発祥記念館 魅力アップ事業】

経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		デジタル実装型		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,150,000千円 (950,000千円)
事業計画期間	R7-R8年度							事業分野	観光分野	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢航空発祥記念館をリニューアルし、基幹となる地域の観光拠点として整備するとともに、周辺施設との連携により、地域の観光客数の増加を図る。 ・航空系企業との連携により航空の仕事体験ゾーンを新設するなど、こどもたちをメインターゲットに航空やモノづくりへの興味や関心を高め、将来にわたり航空人材や技術者の確保に寄与する。 									
具体的な用途と実施体制 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>具体的な用途</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○所沢航空発祥記念館の展示リニューアル施設整備 950,000千円 委託先：(株)トータルメディア開発研究所</p> <p>【整備内容】(R7実施内容) ・展示設備造作 ・展示用グラフィック類作成 ・AV機器設置 ・展示用電気配線、照明設備設置 ・展示用装置、模型等制作設置 ・展示施設に応じた映像コンテンツ類制作</p>							<p>実施体制</p> <pre> graph TD subgraph Platform [官民連携プラットフォーム] S1[所沢市] S2[航空関連企業・団体] S3[地元観光関連企業] end Platform --- S4[所沢航空発祥記念館(指定管理者)] Platform <--> 連携 S5[埼玉県] S5 -- 委託契約 --> S6[株式会社トータルメディア開発研究所] </pre>		

交付金の具体的な用途と実施体制

事業名：環境整備センター資源循環農場・公園整備事業

経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		デジタル実装型		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	923,600千円 (274,000千円)
事業計画期間	R7-R9年度							事業分野	農林水産分野	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・サーキュラーエコノミーの推進に向けた最終処分場跡地の活用モデル及び農業分野におけるサーキュラーエコノミーのモデルとして、県営の廃棄物最終処分場跡地を活用して、資源循環の視点を取り入れた農場・公園を整備する。 ・地域住民の利用を通して、サーキュラーエコノミーの理解度向上・行動変容につなげ、埼玉県におけるサーキュラーエコノミーの推進を図る。 									
具体的な用途と実施体制 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>具体的な用途</p> <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農場・公園の造成工事等 工事請負費：144,563千円 契約先（一部未定）：(株)内田緑化興業 ・造成工事に係る土壌環境調査 委託費：5,000千円、委託先：未定 ・設備整備等 工事請負費：124,437千円、契約先：未定 							<p>実施体制</p> <pre> graph TD A[埼玉県] <--> 事業連携 B[地元市町村] A <--> 契約 C[受注者] B <--> 契約 C subgraph D [埼玉県] D1[施設整備] D2[施設の管理・運営] end subgraph E [地元市町村] E1[農業体験] E2[農産物の活用] E3[イベントでの活用] end subgraph F [受注者] F1[農場・公園の造成工事等] F2[造成工事に係る土壌環境調査] F3[設備整備等] end </pre>		

交付金の具体的な用途と実施体制

事業名：サーキュラーエコノミー推進事業

経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		デジタル実装型		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	148,050千円 (57,350千円)	
事業計画期間	R7-R9年度							事業分野	ローカルイノベーション分野		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> サーキュラーエコノミー（CE）の取組が先行している大企業と県内企業のマッチング、衣料品のCEをテーマとした広域連携によるマッチング会や再生製品の展示により、県内企業の新たなビジネスチャンスを生み出す。 CE型製品等のリサイクル素材の生成ストーリーやCO2削減効果等を評価・登録することで、CE型ビジネスを展開する企業による製品等の価値発信を県が支援する。 市町村が単独でもリチウムイオン電池の回収・再資源化を行えるよう分別回収マニュアルを作成し、リチウムイオン電池からのレアメタル等回収を促進する。 										
具体的な用途と実施体制 ※経費内訳はR7年度事業費	<h3>具体的な用途</h3> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大企業のCEニーズ調査による大企業と県内企業とのマッチング <ul style="list-style-type: none"> ・大企業CEニーズ調査 委託料：12,000千円 委託先：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 ・CE推進センターコーディネーター活動費 補助金：2,900千円 交付先：埼玉県産業振興公社 ○広域連携によるた合同マッチング会開催 補助金：6,453千円 交付先：埼玉県産業振興公社 ○大規模商業施設等での再生製品の展示 補助金：7,987千円 交付先：埼玉県産業振興公社 ○CE型製品等の価値発信支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県CE価値発信広報 委託料：2,400千円 委託先：株式会社スキーマ ・埼玉県CE型製品等に係るCFP算定支援 委託料：4,500千円 委託先：株式会社digglue ・消耗品費 100千円 ○リチウムイオン電池広域回収・資源化モデル構築事業 <ul style="list-style-type: none"> ・広域回収・資源化モデル構築業務 委託料：20,000千円 委託先：株式会社環境管理センター ・研究機関と連携した安全な改修、保管・運搬方法の検討 消耗品費810千円、謝金200千円 							<h3>実施体制</h3> <p>【大企業CEニーズ調査、マッチング等】</p> <p>【CE型製品等の価値発信支援】</p> <p>埼玉県 ↔ スキーマ (業務委託) digglue</p> <p>支援企業 → 県CE推進分科会等</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録制度に係るロゴマーク作成 ・CPF算定等支援 <p>【LiB広域回収・資源化モデル構築事業】</p> <p>埼玉県 ↔ 環境管理センター (業務委託)</p> <p>主な連携先 → 試行対象市、協力再資源化事業者</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点等での回収 ・市、事業者へのヒアリング ・周知及び広報方法の検討等 ・分別回収マニュアル作成 			

交付金の具体的な用途と実施体制

事業名：施設園芸データ共有システム構築事業

経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		デジタル実装型		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	42,231千円 (35,984千円)
事業計画期間	R7-R8年度							事業分野	農林水産分野	
事業概要	<p>県内の施設園芸の主要農産物であるきゅうり、トマト、いちごにおいて、データを活用したデータ駆動型農業による高収量・高品質、省力化を実現するため、データを収集・一元化・分析するシステムの開発と、それらのデータを活用できる農業者や指導者の育成を行う。</p>									
具体的な用途と実施体制 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>具体的な用途</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>○ IoTを活用して農業者の栽培データ等を収集・分析・共有・活用できるシステムの開発 ・システム開発費（委託料） 35,984千円 委託先：グリーン株式会社</p>					<p>実施体制</p> <pre> graph TD Saitama[埼玉県] <--> 相談・助言 NIAIST[国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構] Saitama --> 業務委託 Green[株式会社グリーン] Green <--> 連携・協力 Orgs[農業関連団体 企業] </pre>				

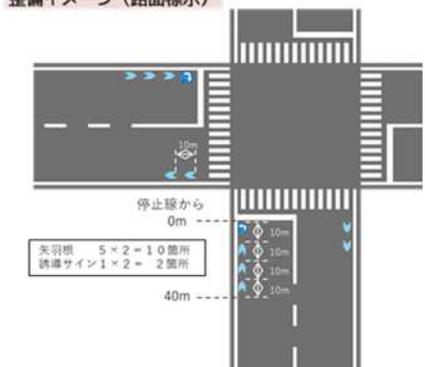
交付金の具体的な用途と実施体制

事業名：「伝統文化」魅力発信・普及プロジェクト

経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		デジタル実装型		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	56,942千円 (19,320千円)	
事業計画期間	R7-R9年度							事業分野	観光分野		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県が有する豊富で多彩な「伝統文化」やその需要を背景に、全県的な情報発信とプロモーションを行うことで、「伝統文化」が地域外から人を呼び込むことができる魅力的な地域資源として活用されることを目指す。 多くの方が「伝統文化」の鑑賞・体験機会に参加することで、「伝統文化」団体の持続性や文化の継承に寄与するとともに、県内全域に受け継がれている「伝統文化」を中心に地域の交流人口が増加することで賑わいが創出される好循環を生み出していく。 										
具体的な用途と実施体制 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>具体的な用途</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>○アプリによる魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> アプリの開発、デジタルスタンプラリーの開催 委託費：15,992千円、委託先：(株)スキーマ バーチャル埼玉でのイベント開催 役務費：50千円 <p>○多様な媒体を使用したプロモーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 発信力のあるアーティスト等と連携した動画・記事作成等 委託費：2,178千円、委託先：(株)スキーマ チラシ・ポスターの作成 需用費：350千円 「伝統文化」体験イベントの開催 役務費・使賃料・需用費：750千円 							<p>実施体制</p> <pre> graph TD Saitama[Saitama Prefecture] <--> 連携・相談 Stakeholders["関連する地域の ステークホルダー"] Saitama <--> 委託契約 Skema[株式会社スキーマ] Stakeholders --- StakeholdersList["県内市町村 県内伝統文化団体 県内金融機関等 埼玉伝統芸能サポーター (民間企業等)"] </pre>			

交付金の具体的な用途と実施体制

事業名：サイクルツーリズム推進事業

経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	デジタル実装型	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	142,500千円 (60,500千円)
事業計画期間	R7-R9年度							事業分野	観光分野
事業概要	<p>・多くのサイクリストを呼び込み、本県のサイクルツーリズムを推進していくため、サイクルツーリズム推進モデルルートの広報・PRなどの情報発信、走行環境整備、受入環境整備を実施する。事業実施にあたっては、各管理者が連携し事業を実施することで魅力あるサイクルツーリズムを実現していく。</p>								
具体的な用途と実施体制	<p>具体的な用途 【インフラ整備事業経費】 ○国のサイクルツーリズム推進モデルルートとして登録された以下の対象ルートにおいて、案内標識、路面標示、自転車通行空間整備などの走行環境整備を実施する。 ・対象ルート：①荒川リバーサイドCityルート（延長約86km） ②秩父札所・長瀬ルート（延長約149km）</p> <p>○全体事業費：60,500千万円 川越県土整備事務所：県道川越狭山自転車道線外 東松山県土整備事務所：一般国道254号外 秩父県土整備事務所：一般国道140号外</p> <p>整備イメージ（路面標示）</p>  <p>路面標示（ピクトグラム）</p> 				<p>実施体制</p> <p>----- 検討会議 -----</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>サイクリスト、 埼玉県サイクリング協会</p> <p>埼玉県物産観光協会 各市町観光協会、商工会、 秩父鉄道、西武鉄道</p> <p>埼玉大学、淑徳大学</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>走行環境整備</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>国土交通省 関連市町村 警察本部</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>埼玉県 (事務局)</p> </div> <p style="text-align: center;">↓ 契約</p> </div> </div> <p>(インフラ整備事業) 施工業者:(株)ウエスト工業、昭和工業(株)、(株)萩原工務店</p>				

具体的な用途と
実施体制
※経費内訳はR7年度事業費

交付金の具体的な用途と実施体制

事業名：「来て良し・住んで良し」埼玉づくり官民連携プロジェクト事業

経費の種類	地方創生推進タイプ・横展開型	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	100,348千円 (33,577千円)
事業計画期間	R6-R8年度	事業分野	地方への人の流れ分野
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住施策に係る推進体制を構築し、官民連携により民間事業者等が主体的に取り組む機運を醸成していく。 ・「訪れる場所」「暮らす場所」としての認知度向上のための交流・定住促進プロモーション等事業を戦略的に実施し、交流・定住人口獲得を図る。 ・農山村地域に移住・定住を希望する都市住民などに対し、「都会の近くで農ある暮らしが実現できる埼玉」を重点的に発信するとともに、セミナーや農業実習、体験事業等を実施し農山村地域への人の流れを増幅させ、農ある暮らしによるUIターン促進を図る。 		

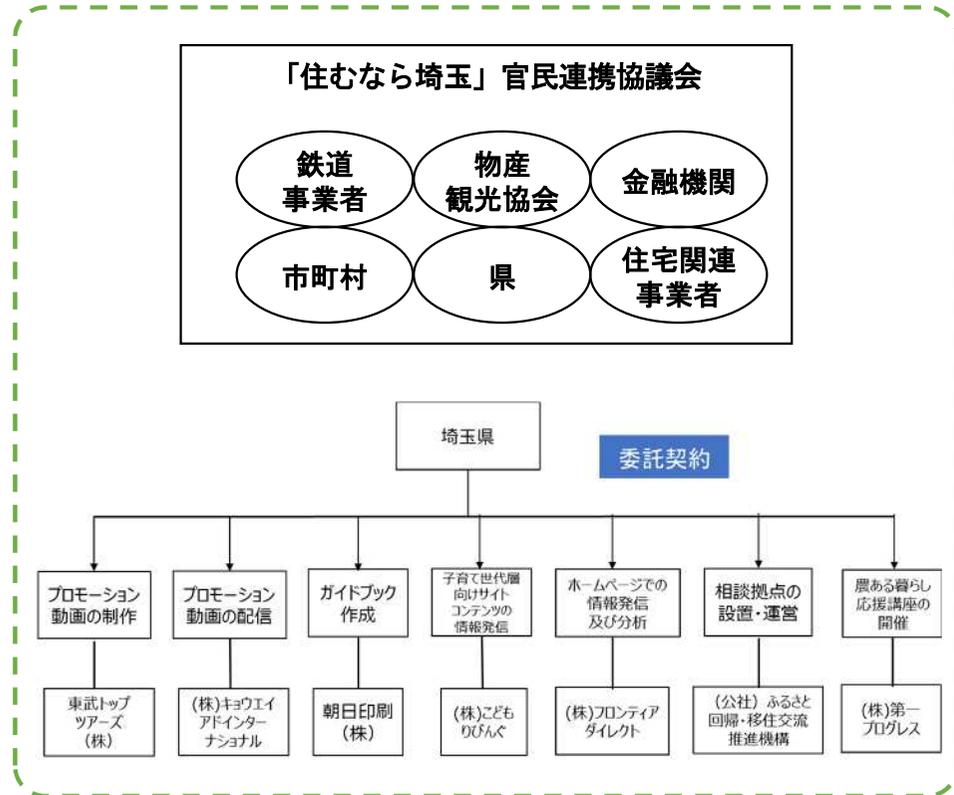
具体的な用途

- 官民連携協議会設置・運営事業
 - ・協議会の運営 使賃料：113千円 報償費：160千円
- 交流・定住促進プロモーション等事業
 - ・プロモーション動画の制作 委託料：2,410千円
委託先：東武トップツアーズ(株)さいたま支店
 - ・プロモーション動画の発信 役務費：4,350千円
契約先：(株)キョウエイアドインターナショナル
 - ・ガイドブック作成 需用費338千円 契約先：朝日印刷(株)
 - ・子育て世代層向けサイトコンテンツの情報発信
委託料：3,905千円 委託先：(株)こどもりびんぐ
 - ・ホームページでの情報発信及び分析 委託料：3,168千円
委託先：(株)フロンティアダイレクト
 - ・相談拠点の設置・運営 委託費：13,028千円
委託先：(公社)ふるさと回帰・移住交流推進機構
 - ・現地訪問促進セミナー、移住・定住・交流イベント等開催
報償費：200千円 需用費：399千円 役務費：120千円
使賃料：1,320千円
 - ・地域おこし協力隊卒業者等ネットワーク構成員拡充・研修開催
報償費：560千円 使賃料：80千円
- 農ある暮らしの魅力発信事業
 - ・応援講座の開催 役務費 3千円 委託料：3,197千円
委託先：(株)第一プログレス
 - ・農ある暮らしセミナー等の開催
報償費：110千円 需用費：96千円 役務費：20千円

具体的な用途と実施体制

※経費内訳はR7年度事業費

実施体制



交付金の具体的な用途と実施体制

事業名：eスポーツを活用した観光コンテンツ創出事業

経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		デジタル実装型		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	99,111千円 (32,684千円)
事業計画期間	R6-R8年度							事業分野	観光分野	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 企業、市町村、学校などのeスポーツ分野への参入拡大を図るとともに、eスポーツ参画人口の拡大を踏まえたeスポーツイベントを実施する。県内でのeスポーツ活用の気運醸成につなげるため、複数の会場を同時接続し、県内各地で参加できるという新しいイベントの形を創出する。 									
具体的な用途と実施体制 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>具体的な用途</p> <p>○県内複数箇所をつなぐ大規模eスポーツイベントの開催 負担金：32,684千円 相手方：県民総合スポーツ大会埼玉県実行委員会 ※委託先：株式会社日テレアックスオン</p> <ul style="list-style-type: none"> プロ選手によるエキシビジョンマッチの観戦や人気eスポーツを体験できる、大規模eスポーツイベントの開催 イベントはYouTube等で動画配信 県内観光スポットが登場するオリジナルコンテンツを作成し、イベントで活用 							<p>実施体制</p> <pre> graph TD A[埼玉県] <--> 協力・連携 B[県内市町村・企業等] A <--> 協定締結(負担金) C[県民総合スポーツ大会 埼玉県実行委員会 (知事、県教育長、県スポーツ協会、 県レクリエーション協会、県学校体育協会等)] C --> 委託契約 D[株式会社日テレアックスオン] </pre>		

交付金の具体的な用途と実施体制

事業名：SAITAMAロボティクスセンター（仮称）整備事業

経費の種類	ソフト事業	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	デジタル実装型	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,300,000千円 (0千円)
事業計画期間	R6-R9年度				事業分野	ローカルイノベーション分野	
事業概要	<p>中小企業等によるロボット・ドローンの研究開発や実証実験の場を提供するため、研究開発拠点としてのレンタルラボや実証実験を行うための屋内フィールド、屋外のドローン飛行場・模擬市街地フィールド等を一体的に整備し、先端産業を集積するとともに県内中小企業のロボット産業への参入を促すことにより、新たな雇用と成長をもたらすことで、県内産業の振興と経済的発展を目指す。</p>						
具体的な用途と実施体制 ※経費内訳はR7年度事業費	<h3>具体的な用途</h3> <p>○ロボット開発イノベーションセンター（仮称）の建設</p> <p>【建築物整備内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本棟延床面積約5,163㎡ ・レンタルラボ（貸研究室）29室（うち継続利用20室） ・コワーキングスペース（100名程度のセミナー開催が可能）2室 ・屋内実証フィールド1室 ・ファブスペース（工作室）・技術相談室 ・貸倉庫（別棟）ほか <p>【建築物本体工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事費 0千円 契約先：未定 				<h3>実施体制</h3> <p>■交付対象 工事請負会社:未定</p> <p>○ロボット開発イノベーションセンター レンタルラボ、コワーキングスペース、 工作室、技術相談室、貸倉庫等</p> <p>【交付対象外】</p> <p>○ロボット開発支援フィールド ネット付きドローン飛行場、 多目的フィールド、 模擬市街地フィールド</p> <p>関係する企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ロボット開発企業 ものづくり企業 Sler ユーザー企業 教育機関 研究機関 支援機関 等 		